

令和7年度 長崎県立諫早高等学校・附属中学校【職員】学校評価項目一覧表 (回答者本人でなく、学校全体の評価を記入してください)

学校評価アンケート(諫高・附属中 教職員)〈評価項目一覧〉

本校の各目標の実現状況や具体的方策の達成状況を次の4～1の4段階で評価し、Formsで回答してください。

評価 4:十分達成している

3:おおむね達成している

2:どちらかという達成されていない

1:ほとんど達成され

前年度+0.2以上

前年度-0.2以上

評価分野1 学校経営

No.	評価項目	目標	具体的方策	評価	
				R7	R6
1	学校教育目標	学校実態に即した目標を設定し、教師間の理解のもとに、教育目標の具現化を図る。	自校の教育課題や生徒の実態を踏まえて、本年度の努力目標を適切に設定し、具現化に努める。	3.2	3.1
2	学校経営	経営方針が学校内外に明確に示され、教職員間の相互理解と保護者・地域の支持に基づく教育活動を行う。	教育方針や努力目標を、生徒・保護者・地域等に対し、様々な機会に明確に示す。	3.2	3.3
3	学年経営・学級経営	学校目標や学年目標に沿った経営を行う。	学年目標や学級目標を教員・生徒への浸透を図り、目標達成のための教育活動を展開する。	3.1	3.2

評価分野2 努力目標

4	生徒指導の充実と教育相談の推進	①基本的な生活習慣の確立を通して、心身ともに逞しい心豊かな生徒を育成する。	講話等により、時と場に応じた態度や節度ある規則正しい生活、規範意識の向上を図る。	2.9	2.9
5		②特別支援的視点を持ち、観察と相談活動を通して、生徒理解と信頼関係構築に努める。	悩みの調査や教育相談委員会を定期的に実施し、悩みを抱える生徒に対する教育相談を適切に行う。	3.3	3.3
6	師弟同行の下での道徳的実践力の育成	①道徳教育全体計画を踏まえ、規範意識と道徳的実践力を身につけた生徒を育成する。 ②教育活動全体を通して、高い志を抱き、主体的に行動できる生徒を育成する。 ③いじめ防止基本方針に基づく様々な取組を通して、人権意識の高揚を図る。	日常の教育活動や行事、生徒指導の際に、道徳的実践力や人権尊重の考えと関連づけて指導する。	3.1	3.1
7	授業改善による学力の充実・向上と進路希望の実現	①志の高い進路目標を設定し、その実現に向け努力し、挑戦する生徒を育成する。	教材研究を十分に行い、生徒の能動的な活動を取り入れた授業を実践し生徒の意欲を高める。	3.2	3.2
8		②自主的・主体的に学習する姿勢を養い、家庭学習の充実を図る。 ③教科指導法の研究や教材の開発に努め、個人及びチームとしての授業改善を図る。 ④キャリア教育(CDA教育)の充実に努め、進路意識の向上を図る。	進路に関する適切な情報を系統的に生徒・保護者に提供するとともに、進路講演会や面談を充実させ、生徒の進路意識を高める。	3.2	3.4
9	健康教育の推進と安全管理の徹底	①生徒及び職員の健康保持に努めさせ、自己管理能力を培う。	登下校時の安全指導や、安全確保、健康保持について生徒や保護者への啓発を定期的に行う。	3.1	2.9
10		②学校行事・部活動等を通して、体力の向上と健康の増進を図る。 ③安全教育を徹底し、安全意識と生命尊重の精神を高め、事故の絶無を期する。 ④安全点検を定期的に行い、安心安全な環境を整備する。 ⑤教職員間の情報共有に努め、あらゆる危機を未然に防止する。	学校生活に必要な施設設備の整備を行うとともに、有効活用を図り、安全点検や補修を定期的に行う。	2.6	2.6
11	学校行事、生徒会活動及び部活動の充実と推進	①学校行事の内容等を工夫し、魅力ある学校づくりを推進する。	効果的な学校行事になるよう、生徒の実態に即した見直しを行い、活動内容を工夫する。	3.2	3.2
12		②生徒の自発的・自主的な活動への支援を通して、生徒会活動の活性化を推進する。	委員会活動の充実を図り、生徒会活動の活性化を推進する。	3.2	3.1
13		③部活動に積極的に参加し、「文武両道」を実践できる生徒を育成する。	部活動を奨励するとともに、ノ一部活動デーの設定など学習と部活動の調和を図る体制を整え、文武両道を実践する。	3.3	3.1
14	芸術文化活動・読書活動の推進	①豊かな情操と温かい連帯の心を養い、人間尊重の精神を育む。	読書を奨励する活動や行事を行うとともに、生徒一人の年間読書冊数を5冊以上にする。	2.7	2.6
15		②文化や芸術等に関心をもち、美しいものに感動する豊かな心を育てる。 ③読書活動を推進し、豊かな感性と表現力、判断力を養う。	芸術鑑賞会や文化祭、学習発表会等の文化的行事の充実を図る。	3.2	3.3
16	省エネルギーの推進と美化意識の醸成	①ゴミの減量、省エネルギーを推進し、環境保全意識の高揚を図る。	全校生徒、全教職員で積極的に清掃活動に取り組む。	2.7	2.7
17		②清掃活動を通して、環境美化に努める生徒を育成する。	生徒会活動を通して、学校全体で省エネルギーに取り組む。	2.9	2.8
18	併設型中高一貫教育の充実と推進	①中高一貫教育のメリットを最大限に活かす教育課程を策定し、指導体制を確立する。 ②内進生と高入生の融和を図るとともに、切磋琢磨する環境を整える。	学校行事や諸活動を企画・立案する際に、中高一貫、連携の視点からも協議を行い、充実を図る。	2.6	2.9
19	広報活動の充実と開かれた学校づくりの推進	①学校説明会やオープンスクール等を通して、学校の特色についてPRに努める。 ②学校ホームページや学校だよりを活用し、教育活動の周知に努める。	Webサイトで最新情報を伝えるとともに、学校だよりを定期的に発行し、広報に努める。	3.0	3.1

評価分野3 その他

20	総合的な学習(探究)の時間の充実	学習指導要領のねらいを踏まえて、学校の特性を生かした活動を展開する。	生徒に身に付けさせたい力を明確にし、学校の特性を生かした年間計画に基づいて、充実した活動を展開する。	3.2	3.4
21	ホームルーム活動の充実	学校・学年の教育目標に沿った年間計画により、活発な活動を展開する。	年間計画に基づいたホームルーム計画や事前準備を行い、活発なホームルーム活動を展開する。	3.0	3.0
22	適切な役割分担・組織的な活動と運営	①各自の役割分担が明確であり、適切に仕事を処理する。 ②各種委員会の活動の効率化と活性化を図る。	分掌、学年、教科等の役割分担と連絡調整を適切に行い、学校全体の業務を円滑に実施する。	3.1	3.2
23	教職員の資質向上への取組	計画的・組織的に授業研究等を行い、指導力向上に努める。	教員相互の授業公開を積極的に行うなど授業改善に努めるとともに、コンプライアンスに関する研修など校内研修の充実を図る。	3.0	3.1
24	保護者との協力体制の確立	生徒に関する情報を保護者と共有し、両者が連携して指導に当たる。	生徒の状況について、学校と保護者が適切に連絡・情報提供を行う。	3.2	3.1
25	PTA活動の充実	PTA活動を活性化し積極的活動を図る。	教職員も積極的にPTA活動に参加し、保護者の関心を高めて、PTA活動を活発化する。	3.0	3.0